

## 平成23年行政事業レビューシート (国土交通省)

事業名	水基本調査		担当部局庁	国土政策局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	H20～		担当課室	国土情報課		課長 神山 修		
会計区分	一般会計		施策名	37 地籍の整備等の国土調査を推進する				
根拠法令	国土調査法第2条第1項		関係する計画、通知等	—				
事業の目的	全国の地下水利用地域を対象に、地下水位、地下水賦存量等を詳細に把握するための基礎資料を整備し、各種地下水利用計画策定や地盤沈下対策等の公害対策の検討に資する。							
事業概要	本調査は全国の地下水資料を統一基準で収集・整理している我が国唯一の調査であり、前年度に新規掘削された全国の井戸を対象に、井戸施設規模、地下水位等のデータ及び地盤・地質情報を収集し、全国地下水資料台帳に取りまとめ、データベースを作成し、ホームページ等で公表を行っている。							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
		補正予算	6	6	6	4	4	
		繰越し等	0	0	0	0		
		計	0	0	0	0		
	執行額	6	6	6	4	4		
	執行率(%)	97.6%	89.1%	68.5%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (26年度)	
	地籍が明確化された土地の面積		成果実績	千㎡	138	140	141	161
			達成度	%	85.7%	87.0%	87.6%	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込	
	地下水調査を行った井戸の件数		活動実績	件	675	700	533	—
単位当たりコスト	7.5(千円/件数)		算出根拠	実績額:4百万円 対象井戸数:533件				
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	測量庁費	4	4					
	計	4	4					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	－	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	－	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種地下水利用計画策定や地盤沈下対策等の公害対策の検討において重要な地下水位、地下水賦存量等の情報を調査しており、国が行う必要性が高い。</li> <li>水調査業務の発注については、一般競争入札としており、今後も統一の様式に従い、継続性を保ちつつ一般競争入札により発注を行う。</li> <li>本調査の成果については、すべての成果データをインターネットにより一般に提供している。</li> <li>全国で毎年平均して数百箇所の深井戸が新たに掘削されており、全国の地下水資料を統一基準で収集・整理している我が国唯一のデータベースである全国地下水資料台帳に、これらの新たな深井戸に係る情報の追加を継続していく必要がある。</li> </ul>		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善④	<p>広くインターネット等で情報提供をしている。全国で毎年数百箇所の深井戸が新たに掘削されており、我が国唯一のデータベースである全国地下水資料台帳に、これらの新たな情報の追加を継続していく必要はあるが、利用者ニーズを踏まえたデータに重点化を図る。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
今後、利用者ニーズの検証を予定			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

国土交通省  
4百万円

地下水資料の収集台帳の  
作成及び公開

↓  
【一般競争入札】  
↓

A. (株)エオネックス  
4百万円

地下水資料の収集及びさく井  
工事の実態把握、情報の提供  
準備

資金の流れ  
(単位：百万  
円)

費目・使途	A.(株)エオネックス			E.		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	人件費等	直接人件費、直接経費及び諸経費	4			
	消費税	消費税	0.2			
	計		4	計		0
	B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)	
計		0	計		0	
C.			G.			
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)	
計		0	計		0	
D.			H.			
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)	
計		0	計		0	

## 支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)エオネックス	地下水資料収集業務	4	3	75.1%